

平成 25 年 3 月 18 日

医道審議会医師分科会医師臨床研修部会御中

精神科七者懇談会

社団法人 日本精神神経学会

理事長 武田 雅俊

精神医学講座担当者会議

会長 朝田 隆

公益社団法人 日本精神科病院協会

会長 山崎 学

国立精神療養所院長協議会

会長 舟橋 龍秀

公益社団法人 全国自治体病院協議会

会長 邊見 公雄

公益社団法人 日本精神神経科診療所協会

会長 渡辺洋一郎

一般社団法人 日本総合病院精神医学会

理事長 黒木 宣夫

精神科研修必修化に関する要望書

平成 16 年度から始まった医師臨床研修制度は平成 26 年度を前に医道審議会医師分科会医師臨床研修部会で 5 年目の見直し（通算 2 回目）が行われています。精神科研修におきましては平成 16 年度からの 5 年間は必修、平成 21 年度からは選択必修となっております。医療現場のみならず社会的問題という観点からも、精神科の必要性は急速に高まっており、それを反映してこの 5 年間の研修医の精神科履修率は高値を維持しております。我が国の精神科医療を担うものとして、七者懇談会を構成する各団体は、共通認識の上に立ち、新医師が望ましい医師像を確立するのに貢献すべく、努力しているところであります。

新研修制度においては、利用者たる国民各層が望ましいと考える医師の養成について、国民の声にも耳を傾ける必要があると存じます。その中で求められている治療者としての医師像は、医術に長けているのみならず、心を癒し、社会的要因にも目を配ることが出来ることでもあります。そのためには、精神科研修は必須と考えられ、以下の観点を強調し、ご理解を得たいと存ずる次第です。

記

1. 第 150 回国会参議院国民福祉委員会における医師法改正に対する附帯決議には、「医師及び歯科医師の臨床研修については、インフォームドコンセントなどの取り組みや人権教育を通じて医療倫理の確立を図るとともに、精神障害や感染症への理解を進め、更にプラ

イマリ・ケアやへき地医療への理解を深めることなど全人的、総合的な制度へと充実すること」とあります。

新医師として最初に学ぶべきことは、全人的すなわち身体—精神—社会—倫理的に患者を把握し、治療を行うことでもあります。これは、生涯必要な診療姿勢として保持し続けるものであります。かかる診療姿勢を集約的に修得するには担当医として精神科臨床の実践を体験することが必要です。

2. 自殺者は14年連続して年間3万人を超えていますが、その半数は疾病を苦しめてのものとなっており、一般科の医師（以下一般科医師）にとっても精神科的素養が必要です。

3. 精神疾患ないし精神障害者に対する偏見がある現状に鑑み、精神疾患の身体合併症の治療にあたっては、一般科医師が精神疾患と精神障害者に理解を持つ必要があります。また身体疾患に伴う精神症状の発現に対しても、精神科的な対応ができるコンサルテーション・リエゾン・ワークの素養が、これからの医師には必須であります。

4. 認知症の高齢者は平成12年には300万人を超え、その精神症状や行動異常に関する知識や相談への対応能力が、一般科医師においても不可欠となっております。

5. チーム医療・社会復帰活動・地域リハビリテーション等を経験するには、精神科医療を通じて修得することが、最も現実的で理解を得やすいものであります。

6. 医師臨床研修制度の評価に関するワーキンググループの資料によると、精神科では2010年度研修医は2008年度研修医に比して、行動・経験目標Aの履修率の低下はありませんでした。このことは多くの研修医が精神科を研修していたことを示しています。

7. これまでも私どもは繰り返し要望してきましたが、以下のような現状を改めて指摘させていただきたいと思えます。

1) WHOは、疾患の政策的重要度の指標として健康・生活被害指標（障害調整生命年 **disability-adjusted life years, DALY**）を用いている。これは病気や障害による損失の大きさを示すもので、日本をはじめとする先進国では精神疾患が第1位を占めている。

2) 我が国の医療の重点施策である4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）5事業（救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療）に2011年7月に精神疾患が加わり5疾病5事業となった。精神疾患の重要性が認められた。

3) 精神疾患の患者数は近年増加の一途を辿り、平成20年には323万人となっている。

4) 身体疾患患者の10~40%にうつ病などの精神疾患が合併している。

5) 一般科医師がうつ病を診断できる割合は諸外国に比較して非常に低い。

6) 一般救急外来には不安障害、パニック障害の患者が増加している。

7) 向精神薬の全処方件数の30~80%は精神科以外において処方されている。

8) 患者や家族との望ましい関係の樹立には精神医学的実践の経験が必要である。

以上より、新医師臨床研修制度の検討にあたって、重ねて精神科研修を必須のものとして組み入れていただくことを強く要望するものであります。